

さまざまなパソコンソフト

ここで勉強すること

- パソコンソフトの種類
- いろいろなソフトのライセンス
- 特殊なパッケージ

パソコンソフトの種類

パソコンソフトには、さまざまな種類のものがあります。

- 予めパソコンにインストールされている「プリインストールソフト」(プリ=事前に)
- お店で売られているソフト「パッケージソフト」
- インターネットで公開されている「フリーウェア」、「シェアウェア」など(まとめて、「オンラインソフト」と称されることもあります)。

プリインストールのソフトだけでやりたいことが実現できない場合は、これらソフトをパソコンにインストールして使うことができます。

パッケージソフトとは、主にソフト製作会社によって作られているソフトで、多くのパソコン関連商品のお店で売られています。パッケージについている CD や DVD などを使ってパソコンにインストールします。

フリーウェア、シェアウェアなどのオンラインソフトは、インターネット上で公開されているソフトです。これには、ソフト製作会社によって作られていることもありますが、個人が作っているフリーウェアと呼ばれるものは、無料で使うことができます(その代わりに、広告が表示されるソフトもあります)が、シェアウェアについては、クレジットカードやデビットカード、プリペイドカードなどでお金を払って、購入する必要があります。

いろいろなソフトのライセンス

ただし、パソコンのソフトは、実際に形の残るものとは違い、「買った人がどこまで自由に使ったら良いか」というものがわかりづらく、個人的な貸し借りのつもりでソフトをコピーして多くの人で使ってしまったりすることがあります。そのため、「ソフトウェアライセンス」というものにより、ソフトの利用に「許可」を与えることで、意図しないコピーされ

ることを防いでいます。そして、ソフトで「ライセンスでどこまでの使い方を許可します」という文章を「使用許諾契約書」などといいます。

この使用許諾文章は、パソコンのソフトインストールするときや、はじめてソフトを使用するとき、ソフトを買うとき等に表示されたり、ソフトのパッケージに同梱されていたりします。

このライセンスは以下のようなものがあります。

- インストールできるパソコンは一つだけです。ただし、同時に使わないという条件のもと「その人だけ」が使用するパソコン(たとえば、家と職場 など、一度に一つのパソコンでしか使えない場合)に限って、インストールしても構いません(ATOK)
- インストールできるパソコンは一つだけですが、本人が使用する2台目の携帯用コンピュータにインストールしても構いません(Microsoft Office)
- 「人」に対しライセンスを許諾します。複数のパソコンにインストールしても構いません(Microsoft Visual Studio)

このようなライセンスの確認のために、インターネットや電話を使ってソフト製作会社に「このソフトを使います」という連絡が必要なものもあります。

特殊なパッケージ

パソコンにプリインストールされているパッケージソフト(バンドルソフト といわれることもあります)や、他のパッケージソフトとは扱いが違います。

たとえば、直接買った場合は二つのパソコンにインストールできる Microsoft Office を二つのパソコンにインストールすることは出来ないなどの制限があります。

また、アップグレードパッケージといって、Microsoft Office など複数のバージョンがあるソフトでは、前のバージョンを持っている人向けに少し安い値段でソフトを売っている場合もあります。

自分の持っているものがアップグレード可能なのかどうかは、持っているものの種類によって変わります。お店の人に言えば調べてくれると思いますので、聞いてみると良いでしょう。